

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		療育支援工房 今宿教室		公表日 令和8年2月20日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	用途によって使い分けができる部屋を確保できている	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	3		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	室内に段差等はあるが、マット等を敷いて転倒を防いでいる。万が一転倒した際も怪我しないように配慮をしている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	毎日、掃除機をかけて次亜塩素酸水をふりながらクイックルワイパーをしている。トイレの掃除も同様に毎日行っている。	トイレなどは生徒さんの失敗などもあるため職員が使用した際に都度汚れていないか確認し掃除が必要。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	遊び部屋・学習室以外にも個別の部屋が1階に一つあり、2階には相談室もある。体調不良の際にも使用している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	0	個別支援計画を作成するうえで全員で話し合いをしている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	ミーティングや面談等でそれぞれの考えや意見を共有する機会がある。その後、改善策を考えている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	3		第三者がどの程度なのか分からない 第三者からの意見をもらう機会が少ない
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	1	動画研修やそれぞれの経験年数によって研修が実施されている。	研修の機会が少ないと感じる。
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	個別支援計画を作成して面談を行っている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	日々の生活において感じるお子さんの困りごとなどを聞き取りし、客観的に分析を行っている。	直接生徒さんへの困りごとの聞き取りは難しいことがほとんど
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	個別支援計画更新時には教室内の全職員から聞き取りを行いその内容を反映させている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	個別支援計画を作成後、全職員に回覧している。また、面談後には保護者様からの情報共有や今後支援するにあたり注意が必要なところを共有している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	1	個別支援計画内に記載済み	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	1	カリキュラム作成やイベントの企画などは職員全員で起案している。	

の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	様々なイベントを企画し、行ったことのない所は下見をして安全性を確かめている。新しい遊びを積極的に取り入れている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	それぞれの特性の合わせた内容と、その特性を生かした集団生活への参加。また、特性が故の困難の乗り越え方を考えている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	午前中にミーティングを行い、その日ご利用生徒さんや送迎について確認と注意点を共有している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	終礼を行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	HUGにてそれぞれの生徒さんの記録を残している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	1	半年に一度モニタリングを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4	2		
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	複数の選択肢を提示し、自分で決めることを促している。		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	1	教室長・児童発達支援管理責任者が同席している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	2	必要な生徒さんにおいては、主治医の先生などを含めた担当者会議を開催している。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0	学校から生徒さんを引き受けるときに当日の様子などをお伺いしている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	3	保育園の先生から見た普段の様子が一覧になっている資料を頂け居ることがある。	頻度は少ないと感じる。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	4		出来ていない
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	0	6		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域他のこどもと活動する機会があるか。	0	6		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	6		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	毎回送迎時にその日の様子をお伝えしている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	4	面談等で相談をされたことに対しての助言や情報共有などは積極的に行っている。	研修等はない
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	2		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	1	面談時に必ず確認を取っている。	保護者様のみで、生徒さんそれぞれの意思については直接聞く機会が少ない。意思表示できない生徒さんについては難しい。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4	2	個別支援計画の内容を説明し、ご納得いただいた保護者様のみサインを頂いている。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	1	面談時や送迎時に相談されることが多く、その都度、再度面談を設定したり必要な場合は担当者会議などを行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	2	4	学校が同じ生徒さんの保護者様同士で情報共有を行っている様子。 生徒同士が遊びの予定を施設内で立てているところを見かけた時には保護者様にお伝えしている。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	トラブルが起きた際には教室長⇨係長⇨課長でご連絡が付く上席に連絡を取り、判断を仰いでいる。内容を確認後、共有し再発防止に努めている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	1	エフだより・ブログ・SNS等で日々の様子やイベントの様子を発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	5	招待することはないが、こちらが地域イベントに参加することはある。(草むしりなど)	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	研修を年に数回行っている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	1	避難訓練を年に数回実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	契約時や来室時に確認を行っている	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	契約時や来室時に確認を行っている	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	ヒヤリハット報告書を作成し、全教室に共有を行っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	1	研修を毎年行っている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	1			